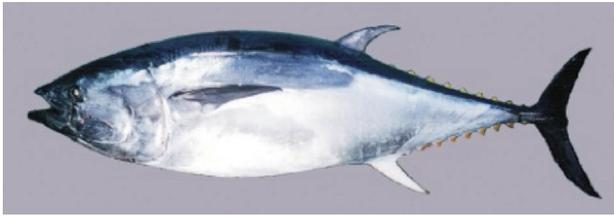


# 大西洋クロマグロ 西大西洋

Atlantic Bluefin Tuna, *Thunnus thynnus*



## 管理・関係機関

大西洋まぐろ類保存国際委員会 (ICCAT)

## 最近の動き

2013 年の ICCAT への報告漁獲量は約 1,480 トンであった。ICCAT では 2014 年 9 月に資源評価を更新した。この更新では、数理モデルへの入力データに最近 2 年分の漁獲情報・資源指数を追加するとともに、モデルの詳細は前回 (2012 年) の資源評価での設定を踏襲した。その結果、親魚資源量は 1980 年代より 2000 年頃までの期間は、1970 年代初頭の 25 ~ 36% 水準で比較的安定しており、2000 年半ば以降に急激に増加したと推定された。近年の加入については 2003 年級の水準が高かったと考えられている。2015 年及び 2016 年の総漁獲可能量 (TAC) は、2,000 トン (日本は 346 トン) である。なお次回の資源評価は、2016 年に東西系群の混合も考慮した新たなモデルを開発して実施する予定である。

## 生物学的特性

- 寿命：32 歳
- 成熟開始年齢：9 歳
- 産卵期・産卵場：5 ~ 6 月、メキシコ湾
- 索餌場：北緯 35 度以北の大西洋
- 食性：魚類、甲殻類、頭足類
- 捕食者：まぐろ・かじき類、さめ類、海産哺乳類

## 利用・用途

刺身・すしなど

## 漁業の特徴

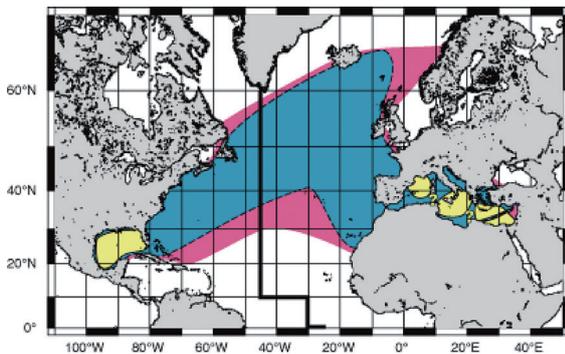
主な漁業国は、米国、カナダ及び日本である。日本は全てはえ縄、米国は釣りを主体にはえ縄・まき網、カナダは釣りを主体にはえ縄で漁獲している。漁期は日本が 11 ~ 3 月、米国が主に 7 ~ 11 月、カナダは 8 ~ 11 月である。

## 漁業資源の動向

漁獲量は 1981 年までは 5,000 トン前後で推移したが、漁獲規制により 1983 年以降は 2,500 トン前後となり、2002 ~ 2007 年にかけて 3,319 トンから 1,638 トンに減少した。その後 1,900 トンから 2,000 トンの間で推移し、2013 年の漁獲量は 1,480 トンであった。2003 年以降の漁獲量の減少は、米国での不漁が主な原因である。

## 資源状態

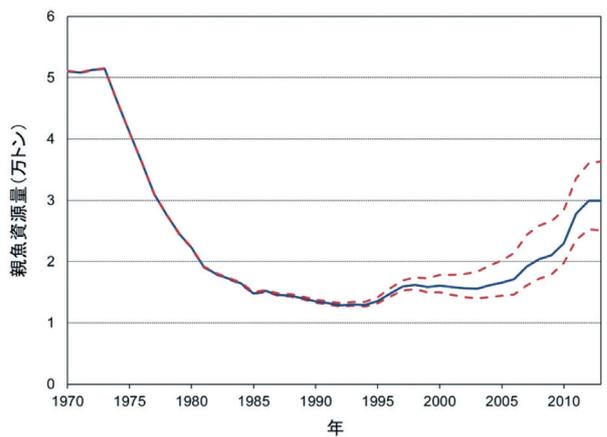
親魚資源量は 1970 年代に大幅に減少した後、1980 年代から 2000 年頃までの期間に 1970 年代初頭の 25 ~ 36% 水準で比較的安定していたと推定された。2000 年半ば以降、親魚資源量に急激な増加傾向が見られ、2013 年の親魚資源量は約 30,000 トン (1970 年の 59%) と推定された。2010 年の資源評価では高水準と評価されていた 2003 年級の加入量は、最新の資源評価においても前回 (2012 年) と同じく、2010 年の資源評価よりも低く見積もられ、当該年級が 2002・2003 年級の両方で構成されるとの結果となった。しかし、これは漁獲物の年齢組成を推定する際に隣り合う年級群の判別が高齢になるにしたがって不鮮明になる技術的な問題によるものであり、現実には 2003 年級の加入水準は高かったと認識された。加入量 (1 歳魚) は 1976 年以降、2003 年を除き、低いレベルで推移している。



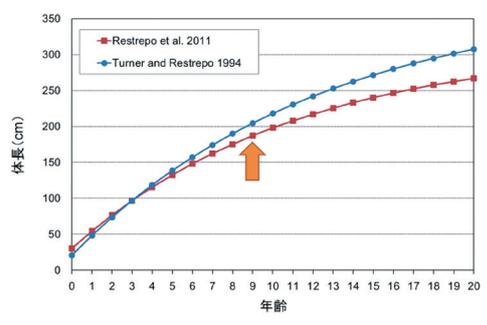
大西洋クロマグロの分布域 (赤) と主要漁場 (青)、産卵場 (黄)  
索餌場は産卵場を除く分布域。縦太線は東西の系群の境界。

### 管理方策

1998年にICCATは2018年までに50%以上の確率で最適な資源状態(SSB<sub>MSY</sub>)に回復させるという計画を決定した。科学委員会(SCRS)は2014年の資源評価において、漁獲量を2,250トン以下にすると、2019年までに現状またはそれ以上の資源量が得られるとした。また、現在の漁獲量(1,750トン)を維持することはより早い資源量の増加につながり、加入シナリオの検証にも役立つとした。2014年の年次会合において、2015年及び2016年のTACは2,000トン(我が国は346トン)と定められた。また他の規制として、115cm(または30kg)未満の個体の漁獲量制限(国別に漁獲量の10%未満とすること並びに小型魚から経済的利益を得ない方法を開始すること)、産卵場(メキシコ湾)における産卵親魚を対象とした操業の禁止及び漁獲証明制度が実施されている。

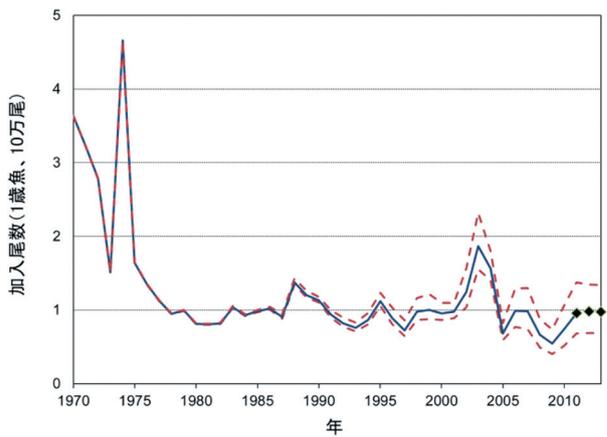


本資源の親魚資源量の経年変化、上下の点線間は80%信頼範囲

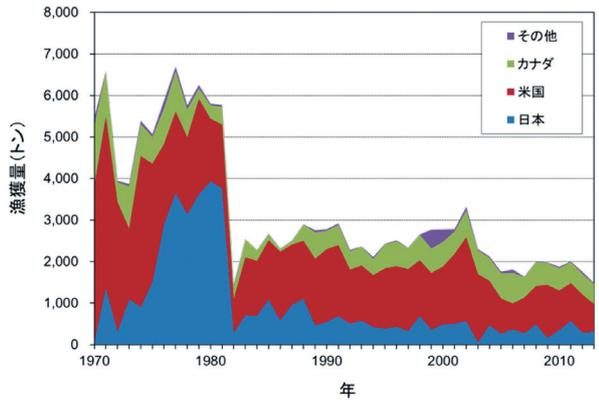
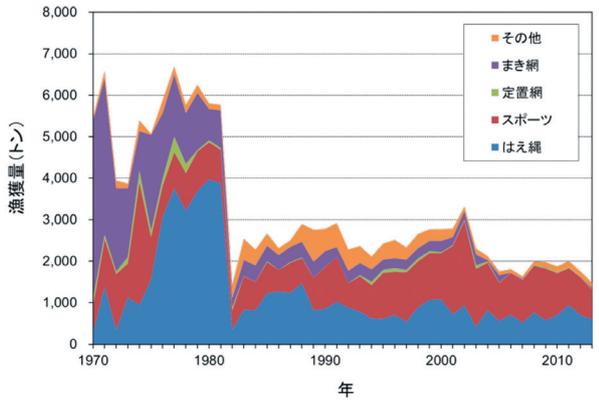


大西洋クロマグロ(西系群)の成長曲線

赤は2010年の資源評価で更新された成長曲線、青は更新前を示す。図中の矢印は成熟体長を示す。



大西洋クロマグロ(西系群)の加入尾数(1歳魚)の経年変化 上下の点線間は80%信頼範囲。最近年(2010~2013年)は信頼性が低いためマークを変えた。



大西洋クロマグロ(西系群)の年別漁法別漁獲量(上)と年別国別漁獲量(下) 漁獲量には投棄分も含まれる。

大西洋クロマグロ(西大西洋)の資源の現況(要約表)	
資源水準	中 位
資源動向	増 加
世界の漁獲量 (最近5年間)	1,484~2,007 トン 平均:1,820 トン(2009~2013年) (投棄を含む)
我が国の漁獲量 (最近5年間)	162~578 トン 平均:340 トン(2009~2013年)
最新の資源評価年	2014年
次回の資源評価年	2016年